



São Paulo Futebol Clube





マルセロ・フィゲレード
・ポルトガル・ゴウヴェア

勝利と栄光のクラブ

サンパウロ・フッテボール・クラブは、我々が自慢できる成功の歴史を誇示していると私は言うにはばかりりません。当クラブは、トリコロールがいつの日か、サッカー界の模範になることを信じた人達の勇気のおかげで、勝つために生まれたクラブです。

ですから、常に将来を見据えながら長い年月にわたって構築された資産を有しております。その中で最大の成果が、夢であったシセロ・ポンペウ・デ・トレド・スタジアム（モルンビー・スタジアム）の完成です。将にトリコロールの熱意と卓越さを示すモニュメントです。

ですが、我々は、資産を管理することだけで、敬意や賛辞を受けているわけではありません、この国の他のクラブを凌ぐ、輝かしい成功によってそれらを頂戴しているのです。

フィールドにおいては、大きな喜びと幾多の重要なタイトルを与えてくれるビッグ・チームを形成しており、フィールドの外では、バーハ・フンダ・トレーニング・センターや、最近完成したラウド・ナテル選手養成センターのようなクラブのインフラストラクチャーの近代化に投資しております。

サンパウロ・フッテボール・クラブが、今にも増してチャンピオン・クラブであるように新しい目標に邁進するものであります。

サンパウロのトリコロール（赤、白、黒）からの挨拶とします。

マルセロ・フィゲレードポルトガル・ゴウヴェア
会長



ジュヴェナウ・
ジュヴェンシオ

サンパウロFCの現状。

参加した多くの大会での実績で評価を高めたチーム編成；

真剣さと規律；

1千300万のファンを持ち、8万人以上を収容する「モルンビー」ホームスタジアム、そして会員用の一大スポーツ・パークを所有しているクラブである。

それに加え、

22万平方メートルの土地に建設された素晴らしい選手育成施設；
4万5千平方メートルを擁する寄宿舍つきプロ選手トレーニングセンター；

マルセロ・フィゲレード・
ポルトウガル・ゴウヴェア
会長

アデマール・デ・バーロス
副会長

パウロ・プラネッチ・ブアルケ
副会長－総務担当

ジュヴェナウ・ジュヴェンシオ
副会長－サッカー担当

ジョゼ・パウロ・レアウ・フェヘイラ・
ピーレス
理事/事務局長

カリウ・ホッシャ・アビダラ
法務担当理事

ジョアン・パウロ・デ・ジェズス・
ロペス
企画・開発担当理事

ガブリエル・アイダル・アボウシャル
国際関係担当理事

アントニオ・ジョゼ・バチスタ・
フェヘイラ
総務担当理事

オズワウド・ヴィエイラ・デ・アブレウ
財務担当理事

ジョアン・エルシリオ・バストス・デ・
パウラ・エドゥアルド
予算管理理事

選手のリハビリに関しては、国内外で模範となっているReffis ;
サッカー界で最も選手を海外へ送り出し、若いタレントの発掘にも
ナンバーワンのクラブである ;
現在、ブラジルは世界のペンタ・チャンピオンという「有名ブラン
ド」の位置を誇っており、世界的な視野で活躍する時期を迎えてい
る。
未来は今だ。

ジュヴェナル・ジュヴェンシオ
副会長・サッカー担当

アントニオ・ルイス・ベラルド
渉外担当理事

オヴィデオ・ペレイラ・ダ・シウヴァ
アマチュア・スポーツ担当理事

ジョゼー・ミゲウ・デ・アンドラーデ
サッカー渉外担当理事

**アントニオ・フェヘイラ・デ・
アンドラーデ**
テニス担当理事

**ジューリオ・マルチンス・デ・
モラエス**
アマチュア・サッカー担当理事

パウロ・ナシメント・デ・ゴドイ
メンテナンス担当理事

**ロベルト・ホルメス・アウヴェス・
ナテウ**
建設事業担当理事

ジョゼー・ゴンサウヴェス
スタジアム担当理事

ジューリオ・セーザル・カザーレス
マーケティング担当理事

**ジョルジェ・ドス・サントス・
アフォンソ**
コミュニケーション担当理事

全ては1930年の1月、ブラジル・サッカーのアマチュア時代に最も輝かしい成功を収めたパウリストアーノ・アスレチック・クラブのサッカー部活動の廃止に納得しない60人の会員が、市内のもう一つの伝統的なクラブ、深刻な財政的困難を抱えて消滅の危機に瀕していたパウメイラス・アスレチック・アソシエーションに合同の話を持ちかけたことから始まった。

ブラジルのビッグ・クラブの中で最も歴史が新しく、最も成功したクラブ

パウリストアーノは1929年のチャンピオンチームを持ち、そしてパウメイラスは、当時サンパウロ市で最大のスポーツ施設であったフロスタ荘園を所有していた。新しいクラブのユニフォームは、パウリストアーノの白と赤、パウメイラスの黒と白を引き継いだ。20世紀初頭最大のクラッキ、フリーデンレイヒを擁して、サンパウロは、**1931**年のサンパウロ州選手権の獲得や、**1933**年に始まったブラジル・サッカーのプロ化の先駆になるなどの幾ばくかの成果を収めた。しかしフィールドの外では負債がかさみ、

サンパウロは**1935**年、今度はチエテ・ボート・クラブと合併することになり、サッカー活動は中止されることになった。235人の会員が、自分たちのサンパウロがなくなることを受け入れず、チエテ・クラブを出て、1935年12月16日（クラブの正式な創立記念日）、再度、サンパウロ・フッテボール・クラブを創設した。同一名称、同一紋章、同一シンボルカラー、同一ユニフォームで、フロスタのサンパウロ（ホームゲームを主催していた場所の所為でそう呼ばれていた）時代のマスコットまで同じだった。この二つの団体は法的には全く別個のものであるが、感傷的には一つで、単に存在が二期に分かれているだけなのである。“新”クラブの最初の数年は多くの困難が伴った。**1942**年、当時ブラジル最高のクラッキといわれたレオニダス・ダ・シウヴァと契約し、サンパウロは、輝かしい勝利と栄光に包まれた新しい時代を迎えた。トリコロール（赤黒白の三色シンボルカラーから、サンパウロ州のトリコロールといわれる）は**40**年代に**5**回の州選手権を獲得し、ブラジルの**40**年代最高のチームとまでいわれた。



50年代には、**53**年と**57**年の州選手権より重要な、クラブの歴史の中で最も野心的なプロジェクト、クラブ所有で世界最大のスタジアム—モルンビーの建設が開始された。このプロジェクトは、クラブの資金、労力、献身の全てが注がれ、サッカーチームは二の次と

1931 | 1943 | 1945 | 1946 | 1948 | 1949 | 1953 | 1957 | 1970 | 1971 |

いうほど真摯に取り組まれた。その証拠に、トリコロールは**60**年代に連続**13**年に渡り獲得タイトルがないという経験をした。**70**年代には、モルンビーの夢が叶い、クラブは勝利と栄光の道を再び歩み始め、**70**、**71**と**75**年の州選手権を取った。さらに重要なのは、この**70**年代にサンパウロの名は州境を越えて、**77**年のブラジル選手権の獲得で全国的になったことである。**70**年代がタイトル獲得へ新しく弾みをつけたとすれば、

80年代は、**80**、**81**、**85**、**87**、**89**年のサンパウロ州選手権、さらに**86**年の二度目のブラジル選手権を獲得し、次の**90**年

代を別にすればクラブ史上最高のタイトル・ラッシュの
10年となった。**90年代**は、州や全国タイトルがあたりまえ
になり、サンパウロはいよいよ文字通りの世界制覇に向か
うことになった。

ブラジル選手権

1977 | 1986 | 1991

サンパウロ州選手権

1975 | 1980 | 1981 | 1985 | 1987 | 1989 | 1991 | 1992 | 1998 | 2000 | 2005

南米リベルタドーレス杯

1992 | 1993 | 2005

南米レコッパ

1993 | 1994

クラブ世界選手権

1992 | 1993

コンメボール・カップ

1994

公式なタイトルだけでも、**91**、**92**と**97**年のサンパウロ州選手権、**91**年のブラジル選手権、**92**と**93**年のリベルタドーレス杯、**92**、**93**年の世界チャンピオン（インターコンチネンタル・クラブ・チャンピオン／トヨタ・カップ）、**93**、**94**年の南米レコッパ・チャンピオン、**93**年のリベルタドーレス杯チャンピオンズ・スーパー・カップ・チャンピオン、**94**年のコンメボール杯チャンピオン、**96**年のコンメボール杯スーパーカップ・チャンピオンを獲得した。**2000**年代に入って直ぐは目立った結果がなく、**2000**年の州選手権と**2001**年のリオ・サンパウロ選手権だけに過ぎなかったが、**2005**年、サンパウロは全力疾走を始めた：サンパウロ州選手権を手始めに、**12**年目にして再び南米大陸を制覇、リベルタドーレス杯を手にした。





アルトゥール・フリーデンレイヒはアマチュア時代のブラジル・サッカー界最高のクラッキである。ドイツ人の父と黒人の母の血を受けたこのセンター・フォワードは、**1916年**、ブエノス・アイレスで行われた南米選手権において、その敏捷さとフアイテング・スピリットにより、アルゼンチン・プレスから“エル・チーグレ（タイガー）”とあだ名された。ブラジル代表チームの最初の大きなタイトル、**1919年**と**1922年**の南米選手権の獲得に最大の貢献をし、その全盛期には、サンパウロ・クラブの前身のひとつ、パウリスターノ・クラブでプレーした。新しいクラブでも、引退を間近かに控えてはいたが、**1931年**の州選手権獲得、並びに**1933年**のブラジル・サッカー界のプロ化に貢献し、ブラジル・プロ・サッカー時代の第一号ゴールを記録さえした。永年、ペレーをも凌ぐ生涯得点**1,329**点をマークし、FIFAも認めるサッカー史上最大の得点王と見られていた。しかし、記録が整理され、“エル・チーグレ”は**561**試合で**556**点をマークしたことが明らかにされた。生涯得点でサッカー・キングに勝つことはできなかったが、ゴール・アベレージではペレーの**0.93**を凌ぐ**0.99**を記録した。

ヒツク

レオニダス・ダ・シルヴァは最初に世界的な評価を受けたブラジル人ビッグ・クラッキである。**1938**年のフランス・ワールド・カップで**8**得点をマークして得点王（内**1**点は裸足で挙げた）になり、その素晴らしい活躍に対し、フランスのプレスは“ゴム人間”の異称を奉った。世界中からオーヴァー・ヘッド・キック（バイシクル・キック）の発明者と言われているが、これには異説がある、しかし彼がこの技を完成し、世界中に広めたことには疑問を挟む余地はない。サンパウロには**1942**年に、それまでの南米サッカーでは最高額の移籍金**200**コントス・デ・レイスでフラメンゴから入団した。当時**29**歳、最初は年齢が高すぎる、体調が万全でないといわれ苦労したが、後年、クラブ史上最大のアイドルとして地歩を固め、**5**つのサンパウロ州選手権を獲得、**140**得点を挙げ、サンパウロの名を世界中に高めた。

ネーム



コミュニケーションの分野で成功した企業家の、**パウロ・マッシャード・デ・カルヴァーリョ**はサンパウロ・クラブの中で、会長、サッカー部長、役員会事務局長、評議員と数多くの役職を勤めた。レオニダスを獲得するアイデアは彼のもので、危険な賭けと思われたが時が経つと正しかったことが証明された。ドクター・パウロと選手たちに呼ばれていたが、常に選手との関係と操縦に独特の手腕を発揮していた。それ故に、代表チームの雰囲気支配的だった無秩序を払拭し、プロ意識を植え付けたいと望んでいたCDB（現在のCBF—ブラジル・フットボール連盟）は、**1958年**のワールド・カップ大会の開催地、スウェーデンに向かうブラジル代表団の団長に彼を招請することに決定した。今まで足りなかった真摯さと組織力で代表団を取り仕切ったドクター・パウロの指揮のもと、ブラジルはワールド・カップを初めて手にした。次のワールド・カップ、**1962年**のチリ大会も処方は繰り返され、ドクター・パウロが団長を務め、ブラジル代表チームは二連覇を果たした。ブラジル・サッカー史上、最高のチーム役員として、“勝利の元帥”の称号が授けられた。

..... ビッグ・ネーム



マウロ・ラモス・デ・オリヴェイラはブラジル・サッカー界で最もテクニシャンで最もエレガントなバックスの一人であっただけでなく、その早熟さで有名である。**18歳**で、州内部から出て来てサンパウロに入団するともう、**1948年**のサンパウロ州選手権チャンピオンチームのレギュラーであった。その次の年、トリコロールの州選手権二連覇に貢献しただけでなく、ブラジル代表チームに選ばれ、ブラジルが勝利した**1949年**の南米選手権の数試合に出場した。**50年代**を通してサンパウロのレギュラーで、通算すると約**500**試合に出場し、**1953年**と**1957年**の州選手権獲得に加わった。代表チームでは、**1950年**のワールド・カップには出場せず、**1954年**と**1958年**は補欠であったが、**1962年**のチリ大会にはレギュラーで、キャプテンとして世界戦二連覇に貢献した。**1960年**、サントスに移籍し、サントスの二度に渡るリベルタドーレス杯並びにインターコンチネンタル・カップの獲得（**1962/1963**）に大いに功績があった。

ジジーニョはフリーデンレイヒやレオニダスのような伝説的選手の正当な後継者である、ジジーニョは、誰あろうペレーが、プレーするのを見た選手の中で最高の選手と今でも言うほどに理想にした選手であった。今でも南米選手権の歴史の最高得点、**17点**は彼のものである。ワールド・カップは**1950年**のブラジル大会に唯一回出場したに過ぎない。大会の最優秀選手に選ばれ、イタリア人記者にレオナルド・ダ・ヴィンチが名画を描いているようだと比較され、マスター・ジザと異名されたにもかかわらず、チャンピオンになれなかったことが影を落としている。サンパウロにはもうヴェテランの域に達した**36歳**で入団、相対的に短い期間ではあったが、その存在感は忘れようもないほど絶対で、**1957年**サンパウロ選手権のシーズン途中からチームの司令塔として入り、限界のあるチームを“無敵艦隊”ともいえるチームにまとめ上げ、決勝でコリンチアンスを**3 X 1**で破ってタイトルを手にした。

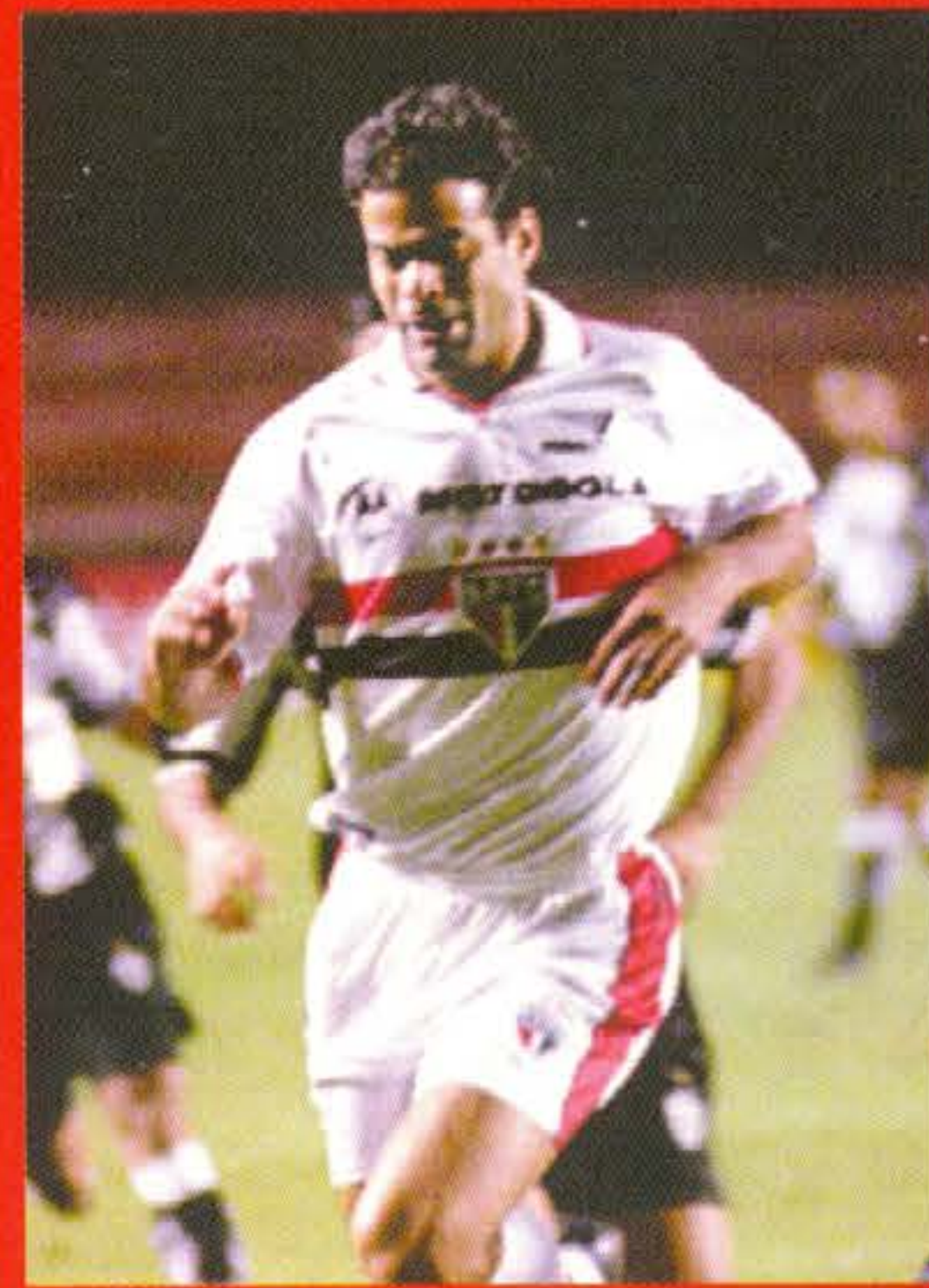
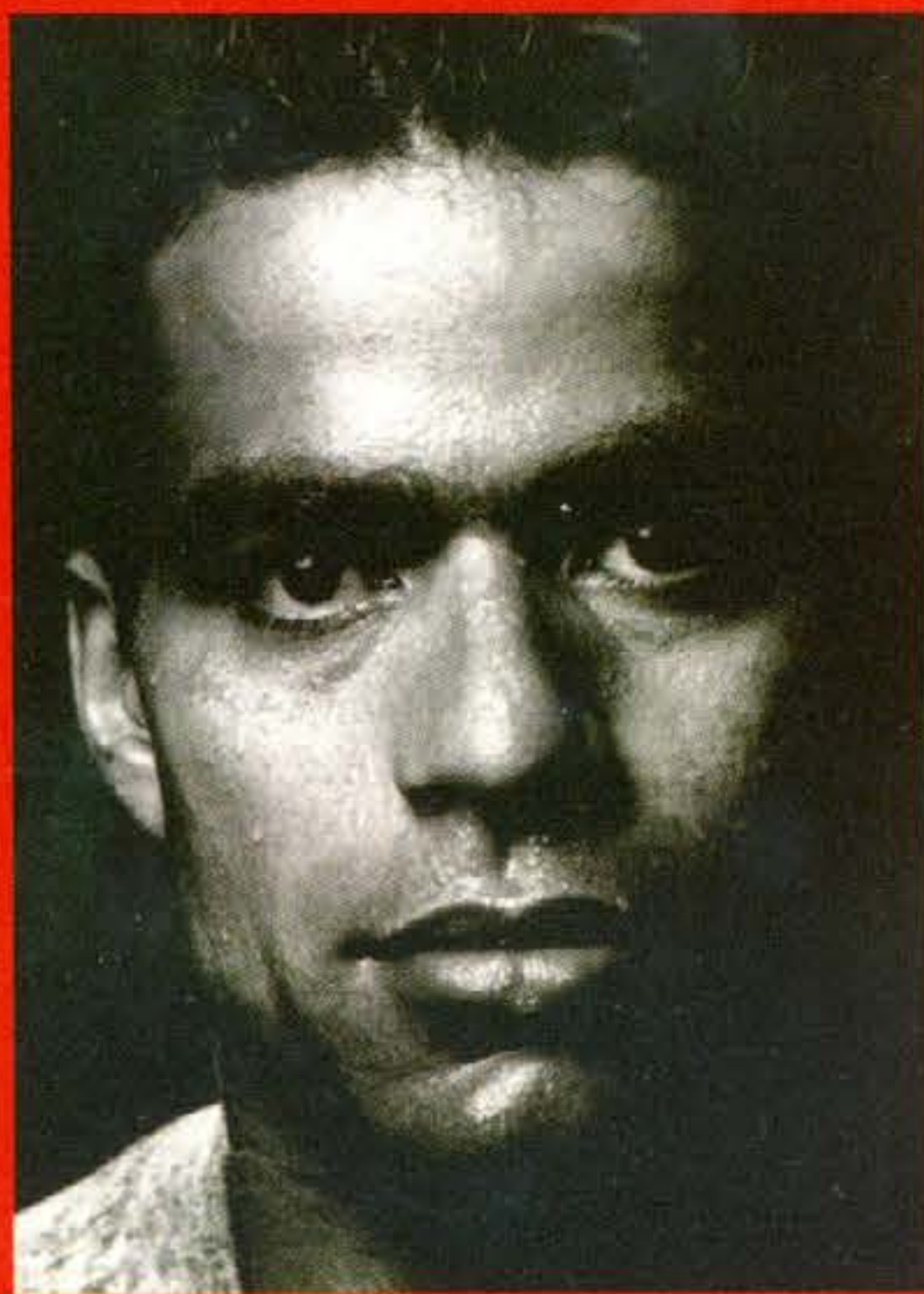




ジェルソンは、
1970年のメキシコ
・ワールド・カッ
プに優勝し、マジ
ックとも謂われた
ブラジル代表の頭脳

であった選手である。ブ
ラジル・サッカー史上、最高のロングパスの
名手といわれ、メキシコ大会では数え切れな
いほどのロングパスをピン・ポイントのよう
な正確さでチーム・メイトの胸に届け、それ
故に“黄金の左足”の異名を頂戴した。ジェ
ルソンはサンパウロに、**12**年間の無冠に止め
を刺すという難しい使命を持って**1969**年にや
って来た。そしてジェルソンは**1970**年のサン
パウロ州選手権を獲得したトリコロール・チ
ームの司令塔であっただけでなく、次の年の
州選手権連覇にも必要欠くべからざる一員と
して寄与した。

ライーは、1987年に、ソクラテスー1982年のワールド・カップに活躍した天才的ミッド・フィルダーの弟としてサンパウロにやってきた。数回のブラジル代表召集や1989年の州選手権獲得への参加にもかかわらず、ライーがクラッキの弟という烙印から逃れるのは容易ではなかった。しかし、テレー・サンターナが監督になって全てが変わった。数多くのそして決定的なゴールを決め、チーム・リーダー



ーである責任を負い、ライーは、サンパウロの歴史の中で最大の栄光の時期、1991年のブラジル選手権、91,92年のサンパウロ州選手権二連覇、92,93年の南米リベルタドーレス杯二連覇、92年のインターコンチネンタル・クラブ選手権、と彼がフランス・サッカー界に移籍するまでトリコロールをピッチの中から指揮した。ライーがパリに“亡命”している間、トリコロールは不快な5年の無冠の期間を過ごさねばならなかった。1998年に、サンパウロに戻った最初のゲームで、仇敵コリンチャンスを手にもうひとつのタイトル、サンパウロ州選手権の獲得にチームの先頭に立ち、そして2000年、トリコロールで5回目の州選手権のタイトルを最後に引退した。ライーはまた、1994年のワールド・カップ・チャンピオン、ブラジル代表チームの一員として多くの試合に参加した。

テレー・サンターナが、1990年の12月にモルンビーにやって来たとき、サンパウロ・サポーターの中には冷笑するものがいた。ライバルチームのサポーターも、テレーの年齢と1982年と1986年のワールド・カップでブラジル代表を見事な手腕で率いながらも優勝出来なかった所為で獲得した、度重なる不運の“名声”に触れながら“引退間近の、それも運の悪い監督を雇うのか？”と挑発する調子で聞く輩がいた。しかし、サンパウロに就任すると運の向きが変わった。それも何と言う大変わりようであることか！サンパウロはそのイメージ通りにきれいで、見栄えのする、常に前に進む攻撃的なサッカーをし、守備懸かりになったりファールをすることなく、クラブのもっとも勝利に満ちた道りを歩み始めたのであった。もし、60年代のサントスの数々の栄光がペレー時代と呼ばれているならば、この90年代初頭のサンパウロの勝利と栄光の時代はテレー時代と名付けられる。テレーはブラジル・サッカー史上最高の監督とみなされ、今日まで、サンパウロ・サポーターから賞賛され尊敬を受けている。その証拠に2005年にチームが南米リベルタドーレス杯を制覇したときサポーターたちはテレーの名を叫んでいた。





“全てのチームにはゴール・キーパーがいるが、サンパウロだけにホジェリオ・セニがいる”

このフレーズは試合の日にはトリコロールのサポーターがモルンビーに持っていく垂れ幕に書かれて文句である。初めて見るものには大げさで、思い上がっていると思われがちだが、まったくの真実である。選手がクラブを渡り歩いていく時代に、ホジェリオはサンパウロに**1990**年からずっといる。サッカー界にますますプロ意識が根付いて来て、選手の所属しているチームに対する感傷的な繋がりが薄くなっていく時代に、ホジェリオは熱狂的なサンパウロ・ファンである。ホジェリオは相手のゴールを防ぐ役目のポジションでプレーしているのだが、ゴール・ゲッター、フリー・キックとペナルティー・キックの名手して有名であり、彼が決めた得点はすでに、キャリアー通算で**52**点という驚くべき数字にしている。その全てがサンパウロでマークされている。トリコロールのユニフォームを着て**600**試合以上に出場し幾多のタイトルを獲得した：**1998**、**2000**、**2005**年のサンパウロ州選手権、**2001**年リオ・サンパウロ・トーナメント、**1994**年のコンメボール・カップ・チャンピオン、**2005**年南米リベルタドーレス杯、そして**2002**年ワールド・カップ・チャンピオン、ブラジル代表メンバーの一員でもあった。

記憶に残る 大試合

サンパウロ 0 x 0 パウメイラス (1943年サンパウロ州選手権)

サンパウロ州のタイトルを取り、ブラジル代表経験の選手を擁しながら、1943年のサンパウロはまだ、市内の2大勢力、コリンチアンスとパウメイラスと対等に戦えるビッグ・チームだとは認められていなかった。当時、巷ではサンパウロがチャンピオンになるより、コインが足元に降って来るほうがまだ可能性があるというジョークが囁かれてさ



えいたほどである。前年にブラジル最高のクラッキ、レオニダスが加わってからでも、ふさわしい敬意も受けず、恐れられてもいなかった。1943年のサンパウロ州選手権制覇は見事なシーズン・キャンペーンと対パウメイラス戦の苦しい0x0の引き分けの後に成就し、以後、ジョークで言われたコインは止め処もなく降ってくるようになった。

サンパウロ 3 x 1 コリンチアンス (1957年サンパウロ州選手権)

1956年、ほぼ手中にしていたサンパウロ州選手権をサントスに奪われて気落ちしたサンパウロは翌年の大会においてなかなか波に乗ることができなかった。コリンチアンスはダントツの優勝候補で、この年**35**戦無敗を記録さえした。奇跡でも起こらない限りコリンチアンスの優勝は動かないものと思われていた。そこに、ジジーニョ、名匠ジザがシーズン途中にサンパウロに移籍して来た。チームはそれ以来勝ち続け、最終節に本命コリンチアンスと優勝をかけて戦うことになった。ジジーニョの随意のロングパスをもらい、チームは非のうち所のない戦い振りでコリンチアンス



1957

ジジーニョ、マスター・ジザがシーズン途中でサンパウロに移籍してきた。

3 x 1 で破り、優勝カップを物にした。

3

サンパウロ **4 x 1** サントス (1963年サンパウロ州選手権)

60年代はサンパウロが公式戦で唯一無冠に終わった時代である。全ての資金がモルンビー・スタジアムの建設に廻され、チームのことは二の次であった。その**60**年代でも、トリコロールが輝いた時があった。その一つが**1963**年のサンパウロ州選手権における対サントス

戦である。当時、世界クラブ・チャンピオンだった、ペレーを擁するサントスがサンパウロの素晴らしいプレーの前に沈んだのである。その上、平常心を失い、退場者を二人出し、それ以上の大敗を防ぐために遅滞行為を繰り返し、サントスがピッチを去るときにはスコアはサンパウロ**4x1**サントス、になっていた。

63



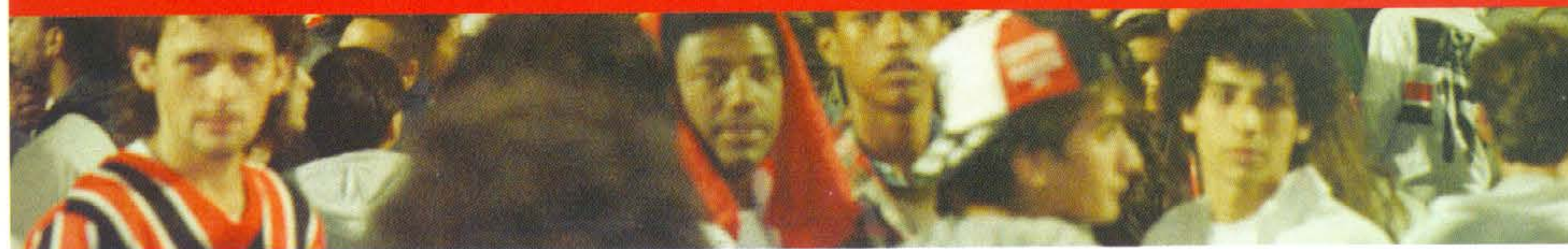
4x1

ペレーのチームがピッチを去る時、スコアは4 x 1になっていた。

1992

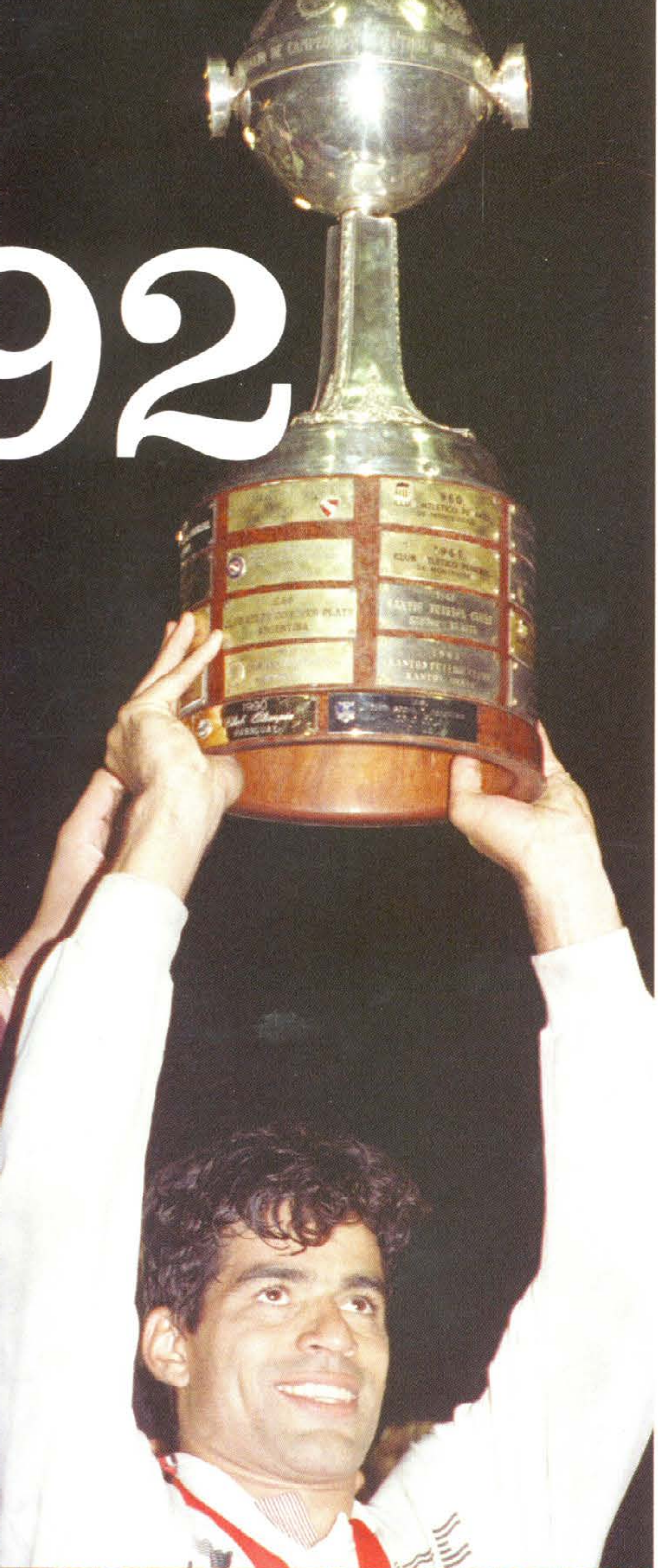


サンパウロ 1 x 0 ニューウエルズ(1992年リベルタドーレス杯)



1992年の以前には、リベルタドーレス杯はブラジルのクラブから蔑まれて見られていた。特にアルゼンチンとウルグアイに代表されるヴァイオレンスとアンフェアなゲームが支配する結果があらかじめ分かっている大会というわけである。ところがサンパウロが、**92**年のこの大会に全力を挙げ、他に優先して参加すると決めてから、全てが変わった。大会の各段階に精緻な計画が練られ、サンパウロはアルゼンチンのニューウエルズ・オールド・ボーイズとのドラマチックな決戦を、**90**分で1 X 0、ペナルティー合戦では3 X 2で制してカップを獲得、サンパウロ市内のクラブ・チームとしては初めて南米大陸の覇者となった。トリコロールの成功の後、全てのブラジルのクラブがリベルタドーレス杯を重視するようになった。

92



サンパウロ 2 x 1 バルセロナ (1992年クラブ世界戦)

リベルタドーレス杯での勝利で、サンパウロは東京で行われるクラブ世界一決定戦に出場権を得た。対戦相手はヨーロッパのチャンピオン・リーグ覇者、バルセロナであった。当時のバルセロナはストイコフ、コーマン、ラウドルuppに加え、**1994年**のワールド・カップUSA大会に参加したスペイン代表チームの**8人**を擁して、クラブ史上最強チームと謳っていた。日本での試合の**4ヶ月前**、二チームはラ・コルーニャで行われたテレザ・エレラ・トーナメントで対戦し、サンパウロが**4 x 1**で圧勝していた。世界戦の決勝ではトリコロールは先制点を許したものの、追いつき、ライーのフリー・キックからの見事な直接ゴールで逆転した。サンパウロは初めてクラブ世界一となった。

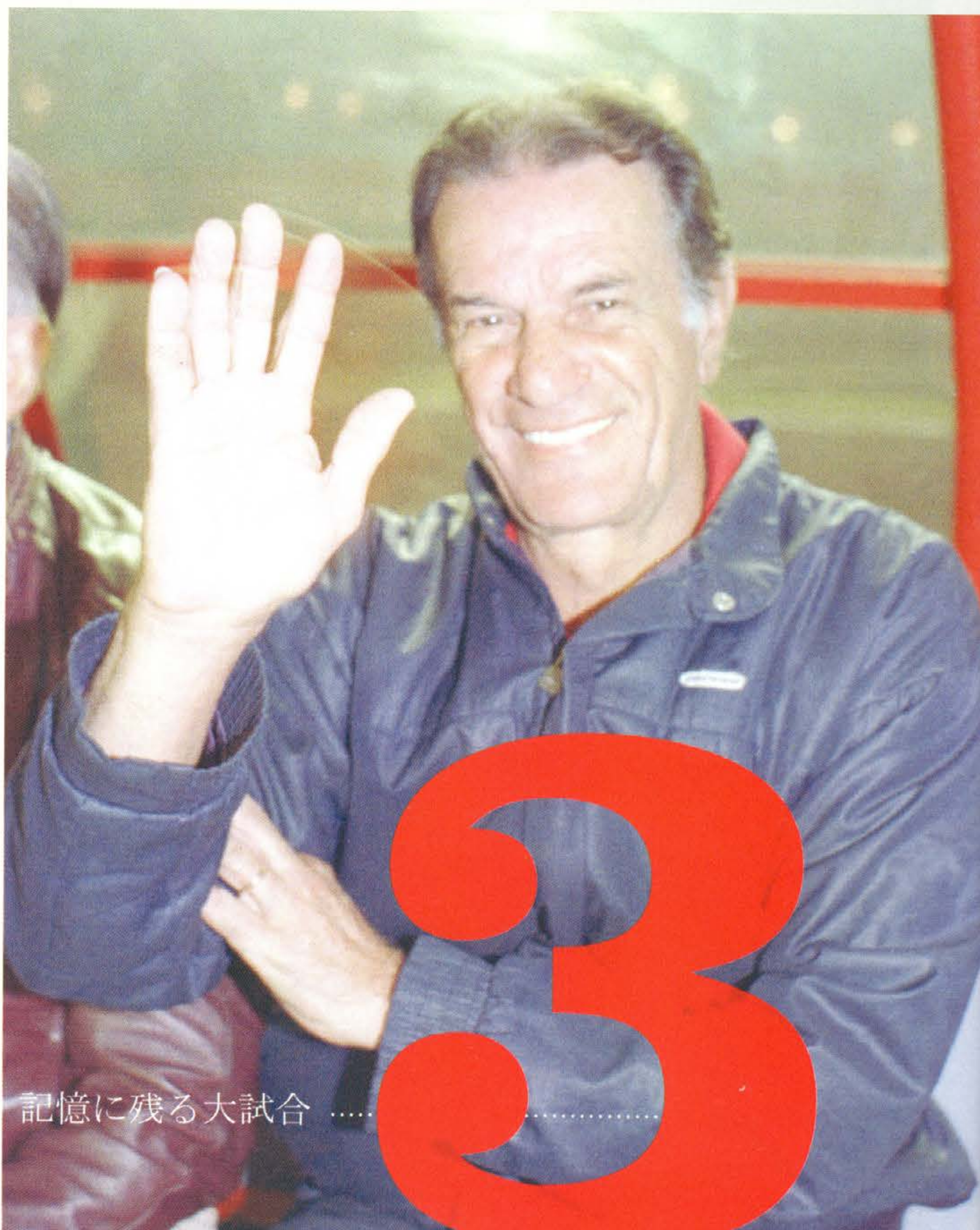


サンパウロ 5 x 1 U.カトリカ (1993年リベルタドーレス杯)

前年よりさらに強力で、よりコンビネーションに磨きをかけたサンパウロは、ブラジルのクラブとしては**60**年代に、ペレーのサントスだけが成し遂げたリベルタドーレス杯連覇に向かった。トリコロールは決勝でチリーのウニヴェルシダー・カトリカと対戦した。モルンビーでの第一試合、クラブ史上でも最高ともいえる試合内容で、大会決勝史上でも最大のスコア、5 x 1でチリー勢を圧倒した。サンチャゴでの第**2**試合は2 x 0で敗れたものの、トリコロールは南米リベルタドーレス杯の連覇チャンピオンとなった。

サンパウロ 2x2フラメンゴ (1993年スーパー・カップ)

リベルタドーレス杯チャンピオンズ・スーパー・カップはその名が示すように南米大陸の覇者となったクラブを集めたエリートだけの、リベルタドーレス杯を改良した大会で、**1988年**と**1997年**に開かれた。大会は技術的には大成功ではあったが、単に商業的な理由からコンメボールはこのトーナメントを廃止してしまった。**1993年**、大会二回目の参加で、サンパウロは、二試合とも2x2の引き分けに終わった、壮絶な点の取り合いの後、ペナルティー合戦において5x3でフラメンゴを退けた。テレー・サンターナの無敵サンパウロが獲得したもうひとつのタイトルである。



サンパウロ 3 x 2 ミラン (1993年クラブ世界戦)



1993年のクラブ世界一決定戦は、リベルタドーレス連覇のサンパウロとチャンピオン・リーグの覇者オリンピック・デ・マルセーリャとの間で行われるはずであった。しかし、フランスのクラブの主要な役員であったベルナール・タピエ (**Bernard Tapie**) がフランス・リーグのある試合で贈賄した容疑で訴えられたことにより、**UEFA**はオリンピックの日本における試合の権利を取り上げ、同年二位のミランに決定戦への出場権を与えた。イタリア・チームは、パパン、サヴィセヴィッキ、ボバン、デサイリーの他にも次の年ワールド・カップ**USA**大会で二位になるイタリア代表からバレジ、マルジーニを含む**8**人を抱える強力な布陣を有していた。そして、サンパウロとミランは、あたかも**82**年のワールド・カップにおける、ブラジル・イタリア戦のような叙事詩的なゲームをしていたが、あの忘れられない終了**4**分前のミュレルの意図しないゴールによって、結果は、**82**年とは逆にブラジルの勝利、イタリアの敗退と出た。トリコロールは世界連覇を達成した。

4

サンパウロはブラジルサッカー界で、伝統的に前衛的なクラブと言われている。クラブは、資産及び若い選手の育成ということに40年代から常に気を使って来ています。それ以上にトリコロールはいつも、成功する選手を養成するだけでなく、広い意味における市民を育成しなければならないという意識をもってそれを行ってきました。それ故、2002年1月、サンパウロは、少年達のための、食事、宿舎、学業奨励、身体療法、医療保障を含む養成計画により、Abrinq財団から“子供の友人”証を授与され、ブラジルで最初の、唯一、この栄誉を受けるクラブになりました。クラブの活動の指針となるヴィジョン/精神の三本の柱がモルンビー・スタジアム、バーハ・フンダ・トレーニング・センター及びラウド・ナテル選手養成センターです。

モルンビー・スタジアム



4

クラブ所有で世界最大のスタジアムとして計画されたモルンビー・スタジアムは、1952年の定礎から、1970年の完成、竣工まで18年が費やされた。



この巨大建造物の数字には驚愕させられる。建坪：**102, 904**平方メートル、その内観客席の面積が**69, 520**平方メートル。ピッチの寸法は**108m x 72m**。スタジアムにはラジオと**TV**中継室が**10**、飲食物の売店が**32**、入場券売り場が**105**、トイレが**51**、**5**台の救急車が常駐する医療センター、**ICU**付ヘリコプターが**1**台有る。さらに、年が経つにつれ改良工事が実施されている。それにブラジルで、身体障害者のための専用エリアがある数少ないスタジアムのひとつである。そのエリアは**470**平方メートルの広さで、**92**台の車椅子と**108**のその他の障害者のための席が用意されている。身体障害者の付添人 ための席も特別エリアの横に備えられている。**2004**年、サンパウロはモルンビー全体に備えられたビデオカメラで



行われる最新のモニタリングシステムを設置した。このシステムは**64**台のカメラで、入場券売り場、検札所、各セクター入り口および通路の重要ポイントにおける観客の動きを監視することができる。カメラは、デジタル・サーヴァーによりリアルタイムで画像を捉え録画することが出来、同時にすべての画像をインナー・コミュニケーション・ネットワークによりオンライン送出することが出来る。ブラジルで、この**F1**レースに使われているものと同等のシステムを持っているスタジアムは他にはない。この巨大なスタジアムは計画したように観客**15**万人を想定して完成したが、年を経て、安全性と快適性のゆえに定員を減らし、現在は**80, 766**人の観客収容能力を持つ。



バーハ・フンダ・トレーニング・センター



1988年に竣工した我等がトレーニング・センター（CT）は、バーハ・フンダ区にあり、その総面積は44, 472平方メートルである。クラブの前会長の一人、フレデリコ・アントニオ・ジェルマーノ・メンゼンの名を冠しているCTはサッカー部がここに居をおき、16の二人用アパルタメント、150人を収容出来る宿舎、プロ、二軍、アマチュアが練習に使用する3面のフィールド、近代的なメデイカル・センター、食堂、プール、筋肉トレーニング用ジムと2千人収容の観客席を備えている。全てのプロ選手の身体的、技術的能力データはコンピューターに記録され、各人についての詳細な評価ができるようになっている。29人の医師、フィジカルトレーナー、身体療法士、アシスタントからなるチームが選手の体調を管理している。食事は栄養士が選手のモニタリングをする国際的レベルにある。CTは既に、数多くの国際的なチームを受け入れたことがあり、そのうちのひとつは2000年のFIFAクラブ選手権に出場するためにブラジルに来たスペインのレアル・マドリである。2003年には、サンパウロはReffis（Reabilitação Esportiva Fisioterápica e Fisiológica—身体療法、生理学、スポーツリハビリ・センター）を開設した。身体能力測定、身体療法およびサッカー傷害の治療と予防を行う複合施設で、スポーツクラブに所属するその種のものとしてはラテン・アメリカで最も進歩した施設である。ヨーロッパで活躍する何人ものブラジル人クラッキ、他の種目のトップ選手までが怪我をしたときはReffisにやってきて回復に努める。



22万平方
メートル



選手 100人
収容の寮



ラウド・ナテル

2005年、サンパウロは、サンパウロ州の内陸の都市コチア市にクラブ史上最大の事業の一つラウド・ナテル選手養成センター（CFT）を開設した。22万平方メートルの敷地に、CFTはサッカーの将来の世代のために、快適さと安全と近代的なインフラを提供するはずである。CFTはコンピューター化された灌漑、排水システムを持つ7面の芝生のフィールドー5面はオ



芝生の フィールド 7面

手養成センター

フィシアル・サイズで2面はソーシアル・サッカー（7人制サッカー）用、プール、更衣室、約100人収容の宿舎、医務室、歯科診療室、食堂、モニタリング・ルーム、中央管理室と広大な緑地帯が備わっている。バーハ・フンダのCTと同様、CFTにもReffs、ブラジルで最も完備した身体療法、生理学、スポーツリハビリ・センターのユニットが置かれている。

サンパウロはこの地球上で一番選手を海外に送り出しているクラブといっても過言ではない。世界中で、サンパウロの元選手を使っているクラブがひとつもないナショナル・リーグというのは非常に稀である。それらの選手の大部分はサンパウロの下部組織で育ち、あるものはトリコロールで名を挙げたあとで移籍したものである。その多くは海外のサッカーで活躍し成功しているが、以下に挙げる選手達ほど成功したものはいない：

カレカはサンパウロのアイドルとして、最

Dan Smith/Getty Images



初にヨーロッパで成功した選手である。**1986**年のワールド・カップで副得点王、同年のブラジル選手権の得点王とサンパウロの優勝に貢献したあと、カレカはイタリアのナポリに移籍した。カレカを今までで最高のパートナー、最高のセンター

・フォワードと評したマラドーナとコンビを組み**1989/90**年の“スクデット”、**1989**年のUEFAカップ、同カップ得点王を獲得。**ナポリで6年間プレーし、合計96点をマークした。**

レオナルドは、サッカー界に現れた最も多才で、コスモポリタンの的で、インテリジェンスのある選手の一人である。1991年のサンパウロのブラジル選手権獲得に重要な役割を果たした後、スペインのヴァレンシアに移籍した。“パエジヤ”の地で2年プレーし、スペイン

・リーグの最優秀右サイドバックに2度選出されたあと、1993年、トリコロールに戻った。

同年、中盤にコンバートされ、サンパウロがス

ーパー・カップとクラブ世界チャンピオンになることに大いに貢献した。1994年、ブラジル代表としてUSA大会でワールド・カップ・チャンピオンとなり、直後、日本の鹿島アントラーズに移籍し、1996年は日本チャンピオンとなった。パリ・サン・ジェルマンで短いシーズンを過ごしたあとミランと契約し、“スクデット”とイタリア・カップを2度獲得した。現在はミランの役員である。

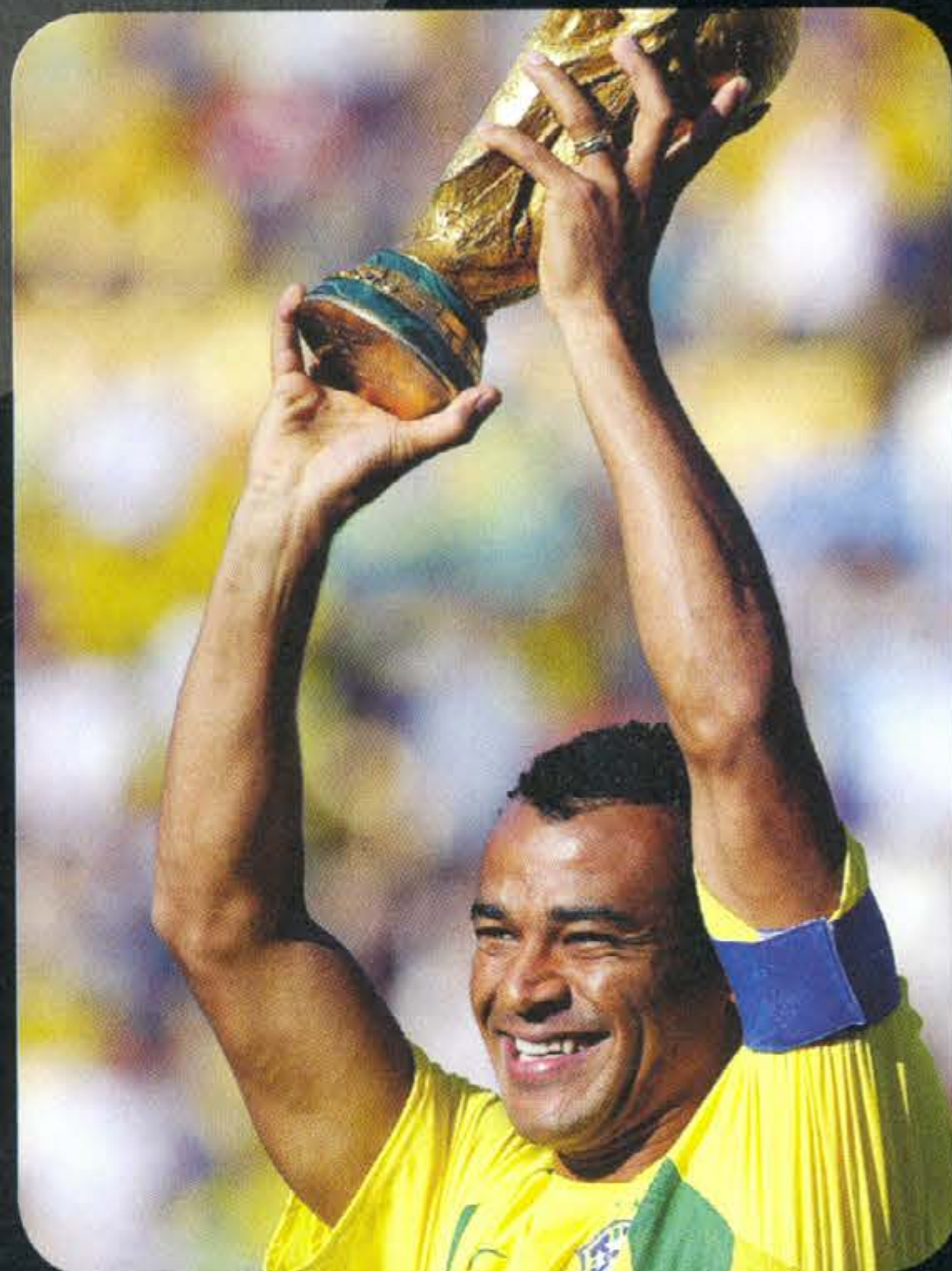


Claudio Villa / Getty images

ライーは1993年に、パリ・サン・ジェルマンと契約した。当時、このパリのクラブは脇役のチームと見られていたが、ライーが来たことですべてが変わってしまった。1993/94年度フランス選手権チャンピオン、1995年と1998年のフランス・カップ獲得。そして、クラブの歴史上初めてとなる、1996年のヨーロッパ・レコッパを獲得し、ライーは、パリがついにヨーロッパのサッカー地図に載ることに大いに力があつた



子供のときからサンパウロのサポーターであった**カフー**は、クラブの下部組織で育てられた。**1991**年から**1993**年までの間の全てのチャンピオン・チームに名を連ね、**1997**年、ヨーロッパでプレーするためにイタリアのローマに移籍した。そしてクラブとして**18**年ぶりの“スクデット”**2000/2001**年度、を獲得する歴史的チームに名を連ねた。**2003**年、ローマからミランに移籍し、**2003/2004**年度イタリア・チャンピオンを獲得。カフーは、**3**回連続してワールド・カップの決勝戦に出場した唯一の選手で、そのうち**2**回、**1994**年と**2002**年にチャンピオンになり、**2002**年にはブラジル代表のキャプテンを勤めた。



エディミウソンはサンパウロの下部組織にいる時からいくつものポジション、右サイド・バック、ヴォランテ、ハーフでプレー出来ることで注目を浴びていた。しかし、そのいずれでも目立った活躍はできなかったが、間に合わせにバックスに起用されたたて



からはもうそこから動くことはなかった。**2000**年のサンパウロ州選手権でチャンピオンになった後、フランスのリオンに移籍した。今までフランスの主要なタイトルを取った事のない新しいクラブで、フランス選手権の**3**連覇を達成した。**2004**年にバルセロナに移り、シーズン開始

まもなく怪我をしたが、すでに回復しゲームに戻っている。**2002**年のワールド・カップでブラジル代表チームのバックスのレギュラーを張り、その上、対コスタ・リカ戦では見事なハーフ・バイシクル・キックでゴールを決め、優勝に貢献した。**2006**年のドイツ大会も、エディミウソンの代表召集は确实視されている。



カカーはサンパウロが輩出した最大のクラッキである

カカーは、サンパウロが育成した最大のクラッキである。家族全員がトリコロールで、モルンビーの中で青少年期を過ごしたといってもいいほどである。**2001**年のリオ・サンパウロ・トーナメントのファイナル、対ボタフオゴとの決定戦において

突如サッカー界にデビューした。試合の途中、サンパウロが**1x0**で負けている局面で登場、**2**点を挙げ、トリコロールにこのトーナメント最初のタイトルをもたらした。**2003**年**8**月、ミランに移籍、直後、インテルとの最初のダービー・マッチに**1**点をマークし、**3 x 1**の勝利に多大な貢献をした。それ以来、ブラジル代表チームでも不動のレギュラーである。**2003/2004**年度イタリア選手権チャンピオン、そして**2002**年ワールド・カップ・チャンピオンにも名を連ねていた。



ジュリオ・バチスタは、サンパウロの下部組織の幼年、少年、ジュニアの全てのカテゴリーを経てプロにまでなった選手である。エディミウソンと同様に様々なポジション、右サイド・バック、ヴォランテ、ハーフ、フォワードでトリコロールのユニフォームを着た。**2003**年、スペインのセビーリャに移籍した。最初のシーズン、弱小チームにもかかわらず、また元々フォワードでもないのに、ジュリオ・バチスタは**20**点をマークし、スペイン・リーグの副得点王になった。次のシーズンも**18**点を挙げ、得点王争いに加わった。**2005**年には**2**千万ユーロのトレード・マネーでレアル・マドリに移籍した。**2006**年のワールド・カップ代表入りが确实視されている一人である。

6

日本までの道のり

2004年のブラジル選手権で3位の成績を収めたサンパウロFCは、2005年度のリベルタドーレス杯の出場権を獲得した。この大会で、モルンビーのトリコロールは第3グループに入り、一次予選では、モルンビーで行なわれたホーム・ゲーム3試合に勝ち、アウェイで行なわれた他の3試合には引き分けるという成績で、このグループで負け知らずの勝ち点12を挙げ一位になった。勝ち抜き式の第二次予選では、サンパウロFCは、宿命のライバルであるパウメイラスを2度の勝利で退けた。準々決勝に進出したサンパウロFCは、モルンビーで行なわれたホーム・ゲームで、メキシコのチーグレスに圧勝し、アウェイの第二試合では2対1で負けたものの、このメキシコチームも退け、準決勝に駒を進めた。そこでサンパウロFCは、この大会の最大の難敵に遭遇した。この大会で予選成績が一番良かったアルゼンチンの伝統チーム、リバー・プレートだった。だが、サンパウロFCは、文句のつけようもない、ホームとアウェーの2勝を挙げ決勝に進んだ。決勝戦はリベルタドーレス史上初の同国籍チーム同士の対決になった。相手は、アトレチコ・パラナエンセで、アウェーの第一戦は1対1で引き分け、ホームの第二戦では、4対0で圧勝し、チャンピオンとなった。こうして、サンパウロFCは、ブラジルのクラブで、この重要な南米大陸のクラブ選手権に3回優勝を飾った唯一のクラブとなった。

3/3/05 - ストロンゲスト (ボリビア) 3 x 3 サンパウロFC

9/3/05 - サンパウロFC 4 x 2 ユニベルシダ (チリ)

16/3/05 - キルメス (アルゼンチン) 2 x 2 サンパウロFC

13/4/05 - サンパウロFC 3 x 1 キルメス

21/4/05 - ユニベルシダ 1 x 1 サンパウロFC

11/5/05 - サンパウロFC 3 x 0 ストロンゲスト

18/5/05 - パウメイラス (ブラジル) 0 x 1 サンパウロFC

25/5/05 - サンパウロFC 2 x 0 パウメイラス

1/6/05 - サンパウロFC 4 x 0 チーグレス (メキシコ)

15/6/05 - タイガーズ 2 x 1 サンパウロFC

22/6/05 - サンパウロFC 2 x 0 リーヴェル・プレート (アルゼンチン)

29/6/05 - リーヴェル・プレート 2 x 3 サンパウロFC

6/7/05 - アトレチコ・パラナエンセ (ブラジル) 1 x 1 サンパウロFC

14/7/05 - サンパウロFC 4 x 0 アトレチコ・パラナエンセ



出発日
3月3日
東京着
12月7日





er



ゴールキーパー
キャプテン

ホジェリオ : ホジェリオ・セニ

1973年1月22日、パラナ州パット・ブランコ市で出生。

身長 : 1,88 m
体重 : 88 kg

デビュー戦 : 1993年6月25日-テネリフェ (TENERIFE) (スペイン) 1 X 4 サンパウロFC.

在籍クラブ :

- 1990 シノップ (SINOP) F.C. (マツグロソ州)
- 1990 サンパウロF.C.

主なタイトル :

- 1990 マツグロソ州プロリーグ
- 1990 パウリスタ・メトロポリタン・ジュニア大会
- 1993 ジュニア・サッカー・サンパウロカップ
- 1993 リベルタドーレス杯・
- 1993 サンパウロ州二軍大会
- 1994 サンチアゴ・デ・コンポステーラ市杯
- 1993 南米レコッパ二連覇
- 1993 リベルタドーレス・チャンピオンズ・スーパーカップチャンピオンクラブ世界選手権
- 1993 CONMEBOLカップ
- 1995/96 世界チャンピオンズ杯二連覇
- 1994 CONMEBOLカップ
- 1995 リベルタドーレス・チャンピオンズ・スーパーカップ二位
- 1996 パウリスタ選手権
- 1997 第三回ユーロ・アメリカ・カップ
- 1998 パウリスタ選手権
- 1999 サンパウロ・リオトーナメント
- 2000 サンパウロ・スーパー選手権
- 2005 サンパウロ選手権
- 2005 リベルタドーレス杯

ブラジル代表歴 :

- 1997 サウジアラビア - コンフェデレーションカップチャンピオン
- 1998 親善試合に召集
- 1999 親善試合に召集
- 2000/01 Wカップ予選試合に召集
- 2002 日本/韓国Wカップチャンピオン
- 2005 グアテマラとの親善試合に召集

サンパウロFCでの成績 :

- 643 試合 (通算)
- 58 ゴール (通算)
- 71 試合 (今シーズン)
- 19 ゴール (今シーズン)

ボスコ : ジョオアオン・ボスコ・デ・フレイタス・シャーヴェス
1974年11月14日にペルナンブッコ州、エスカーダ市で出生。

身長 ; 1,84M
体重 ; 79 KG

在籍クラブ :

- 1993 レシッフェ・スポーツ・クラブ (ペルナンブッコ州)
- 2001 クルゼイロ・スポーツ・クラブ (ミナスジェライス州)
- 2002 ポルトゲーザ・スポーツ協会 (サンパウロ)
- 2003 レシッフェ・スポーツ・クラブ (ペルナンブッコ州)
- 2004 フォルタレーザ・スポーツ・クラブ (ペルナンブッコ州)
- 2005 サンパウロFC (サンパウロ)

主なタイトル :

- 1996 ペルナンブッコ選手権
- 1997 ペルナンブッコ選手権
- 1998 ペルナンブッコ選手権
- 1999 ペルナンブッコ選手権
- 2000 ペルナンブッコ選手権
- 2000 東北伯カップ
- 2001 南伯・ミナスカップ
- 2003 ペルナンブッコ選手権
- 2005 セアラ州選手権

ブラジル代表選手歴 :

- 1999 オランダ代表チームとの親善試合召集
- 2000 W杯予選 ー対ヴェネズエーラ戦召集
- 2001 W杯予選 ー対コロンビア戦召集
- 2002 米国およびメキシコとの親善試合召集



ゴール
キーパー



ゴール
キーパー

フラヴィオ : フラーヴィオ・ホベルト・クレツゼル
1979年2月10日、サンタカタリーナ州、アントニオ・カルロス市で出生

身長 ; 1,96M

体重 ; 97 KG

デビュー戦 ; 2004年3月12日 - アヴァイ 0 X 6 SPFC.

在籍クラブ :

1995/ 96 スポーツ・クラブ・インテルナショナル (リオ・グランデ・ド・スール)

1997 フィゲイレンセFC (サンタカタリーナ州)

1998 ジュンヂアイ (サンパウロ)

1999/ 02 アヴァイ (サンタカタリーナ)

2003 サンパウロFC (サンパウロ)

主なタイトル :

2002 サンタカタリーナ州選手権第一ステージ

2005 サンパウロ州選手権

2005 リベルタドレース杯

サンパウロFCでの成績 :

17 試合 (通算)

1 ゴール (通算)

10 試合 (今シーズン)

1 ゴール (今シーズン)

アレックス : アレックス・ブルーノ・コスタ・フェルナンデス
1982年5月9日サンパウロ市で出生。

身長 : 1,89M

体重 : 86 KG

デビュー戦 : 11/08/04 - SPFC 4 X 0 GOIÁS.

在籍クラブ :

- 2001 アーグアス・デ・リンドイヤ (サンパウロ)
- 2002 インテル・デ・ベベドゥロ (サンパウロ)
- 2003 サント・アンドレ (サンパウロ)
- 2004 サンパウロ F.C. (サンパウロ)

主なタイトル :

- 2003 サンパウロ・カップ・ジュニア・サッカー大会
- 2003 サンパウロ州杯
- 2003 セーリエC, 第二位
- 2004 ブラジル・カップ
- 2005 サンパウロ州選手権
- 2005 リベルタドーレス杯

サンパウロFCでの成績 :

- 34 試合 (通算)
- 29 試合 (今期)



バック



ファバオン : ジョゼ・ファビオ・アウヴェス・アゼヴェード
1976年6月15日、バイア州ヴェラ・クルス市で出生。

身長 : 1,87M

体重 : 85 KG

デビュー戦 : 21/01/04 - SPFC 0 X 0 PONTE PRETA.

在籍クラブ :

- 1996 E.C. バイア (バイア州)
- 1998 C.R. フラメンゴ (リオ・デ・ジャネイロ州)
- 1999 E.C. バイア (バイア州)
- 2000 C.R. フラメンゴ (リオ・デ・ジャネイロ州)
- 2001 レアル・ベチス (スペイン)
- 2001 コルドバ (スペイン)
- 2002 ゴヤス E.C. (ゴイアス州)
- 2004 サンパウロ F.C. (サンパウロ州)

主なタイトル :

- 1998 バイア州選手権
- 1999 リオ州選手権
- 1999 メルコ・スール・カップ
- 2000 リオ州選手権
- 2002 ゴヤス州選手権
- 2002 中西部カップ
- 2005 サンパウロ州選手権
- 2005 リベルタドーレス杯

表彰 :

- 2003 プラカール誌銀色ボール・トロフィー

サンパウロFCでの成績 :

- 112 試合 (通算)
- 7 ゴール (通算)
- 50 試合 (今期)
- 3 ゴール (今期)

ルガーノ : デイエゴ・アウフレッド・ルガーノ・モレノ
1980年11月2日、ウルグアイ国、カネローネ市で出生。

身長 : 1,88M

体重 : 87 KG

デビュー戦 : 11/05/03 - アトレッチコ MG 2 X 2 SPFC.

在籍クラブ

- 1998 リベルター・デ・カネローネ (ウルグアイ)
- 1999/01 ナショナル (ウルグアイ)
- 2002 プラザ・コロニア (ウルグアイ)
- 2003 ナショナル (ウルグアイ)
- 2003 サンパウロ F.C. (サンパウロ州)

主なタイトル :

- 2000 ウルグアイ選手権
- 2001 ウルグアイ選手権連覇
- 2005 サンパウロ州選手権
- 2005 リベルタドーレス杯

ウルグアイ代表歴 :

- 2002 対ベネズエラ親善試合
- 2003 対香港戦、対日本戦召集。
- 2003 香港カップ
- 2004 2006年W. カップ予選
- 2005 対ツイスブルゴ (ドイツ) 親善試合
- 2005 2006年W. カップ予選

サンパウロFCでの成績 :

- 137 試合 (通算)
- 9 ゴール (通算)
- 54 試合 (今期)
- 6 ゴール (今期)



バック



エディカルロス : エディカルロス・コンセイソン・サントス
1985年5月10日、バイア州、サルヴァドール市にて出生。

身長 : 1,83M
体重 : 80 KG
デビュー戦 : 30/07/03 - GRÊMIO 0 X 4 SPFC.

在籍クラブ :

2001 サンパウロ F.C. (サンパウロ州)

主なタイトル

2002 ジッコ杯チャンピオン
2004 サンパウロ・カップ、ジュニア大会二位。
2005 サンパウロ州選手権
2005 リベルタドーレス杯

ブラジル代表歴 :

2003 S18スペイン・トーナメント二位。
2003 S18ミルク・カップ二位 (北アイルランド)
2003 S18仙台カップチャンピオン - 日本
2005 S20南米大会二位。(世界選手権大会出場権獲得)
2005 S20南米大会チャンピオン - コロンビア
2005 S20世界選手権 - オランダ

サンパウロFCでの成績 :

70 試合 (通算)
3 ゴール (通算)
49 試合 (今期)
3 ゴール (今期)

ジョズエー : ジョズエー・アヌンシード・デ・オリヴェイラ
1979年7月19日、ペルナンブコ州ヴィチリア・デ・サント・アン
タオンで出生。

身長 : 1,69M

体重 : 63 KG

デビュー戦 : 20/01/05 - SPFC 4 X 2 ITUANO

在籍クラブ:

1994 ポルト・デ・カルアル (ペルナンブコ州)

1996 ゴヤス E.C. (ゴイアス州)

2005 サンパウロFC (サンパウロ州)

主なタイトル:

1997 ゴヤス州選手権

1998 ゴヤス州選手権

1999 ゴヤス州選手権

1999 ブラジル・セリエBチャンピオン

2000 中西部カップ

2000 ゴヤス州選手権

2001 中西部カップ

2002 中西部カップ

2002 ゴヤス州選手権

2005 サンパウロ州選手権

2005 リベルタドーレス杯

表彰:

2004 プラカール誌銀色ボール・トロフィー・ノミネート

ブラジル代表歴:

2005 対グアテマラ戦召集

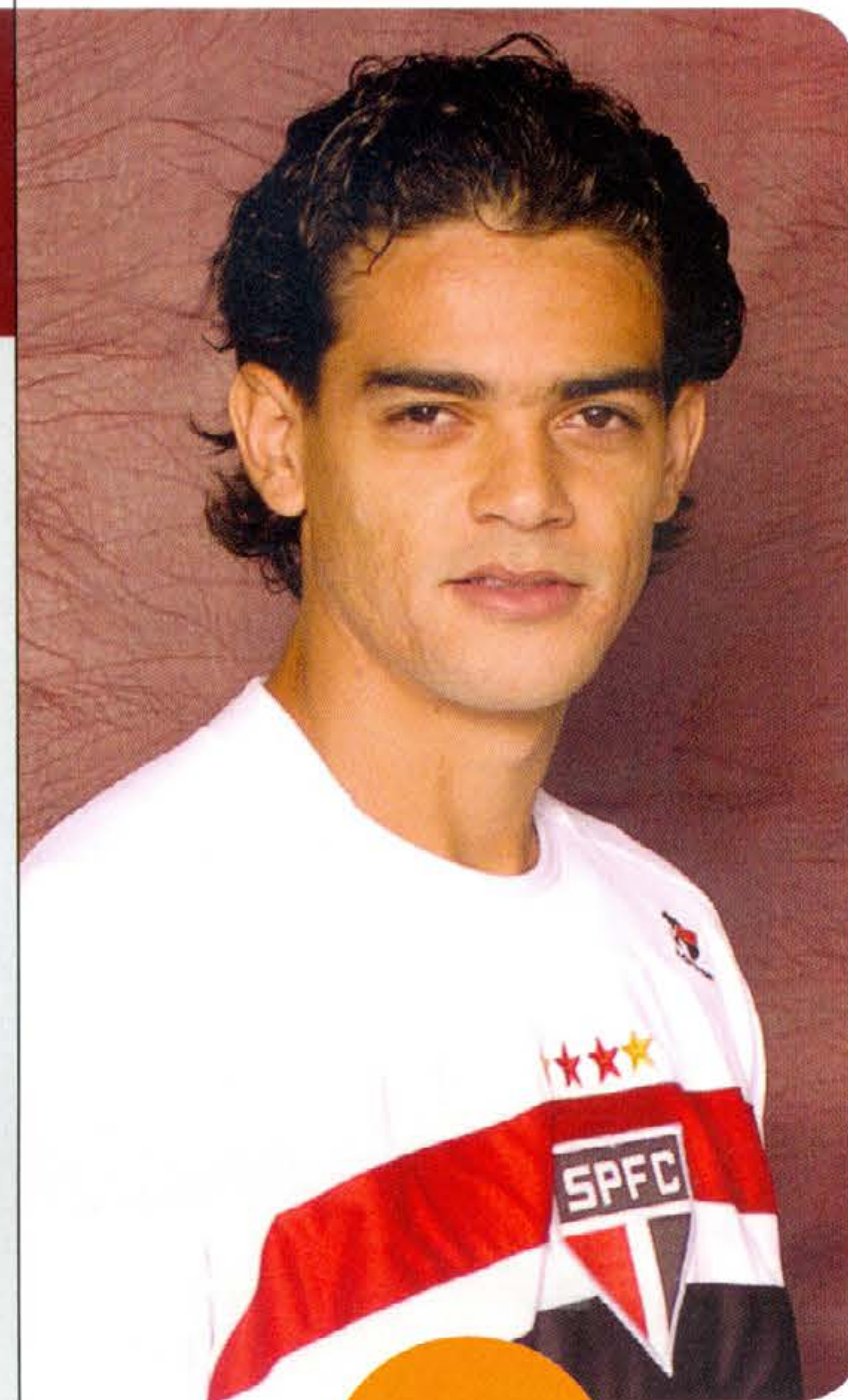
サンパウロFCでの成績:

57 試合 (通算)

5 ゴール (通算)

57 試合 (今期)

5 ゴール (今期)



ヴォランチ



ヴォランチ

ミネイロ : カルロス・ルシアーノ・ダ・シウヴァ
1975年8月2日、リオ・グランデ・ド・スール州ポルト・アレグレ市で出生。

身長 : 1,69M
体重 : 66 KG
デビュー戦 : 20/01/05 - SPFC 4 X 2 ITUANO.

在籍クラブ :

1994 リオ・ブランコ E.C.
1997 グアラニー F.C.
1998 リオ・ブランコ E.C.
1998 A.A. ポンテ・プレッタ
2004 A.D. サン・カエタノ
2005 サンパウロ F.C.

主なタイトル :

2004 サンパウロ州選手権
2005 サンパウロ州選手権
2005 リベルタドーレス杯

ブラジル代表歴 :

2000 コンフェデレーション・カップ
2005 対グアテマラ親善試合召集
2005 2006年ワールド・カップ予選召集

表彰

2000 プラカール誌 - 銀色ボールトロフィー
2004 プラカール誌 - 銀色ボールトロフィー

サンパウロでの成績 :

61 試合 (通算)
5 ゴール (通算)
61 試合 (今期)
5 ゴール (今期)

デニウソン : デニウソン・ペレイラ・ネーヴェス
1988年2月16日、サンパウロ市で出生。

身長 : 1,78M
体重 : 73 KG
デビュー戦 : 02/07/05 - PONTE PRETA 1 X 0 SPFC.

在籍クラブ:

1998 サンパウロ F.C. (サンパウロ州)

主なタイトル:

2000 DEF選手権
2001 協会選手権

ブラジル代表歴:

2005 S 17南米大会チャンピオン - ヴェネズエラ
2005 S 17世界選手権二位 - ペルー

サンパウロFCでの成績:

9 試合 (通算)
0 ゴール (通算)
9 試合 (今期)
0 ゴール (今期)



ヴォランチ



左サイドバック

ジュニョオル : ジェニウソン・アンジェロ・ソウザ
1973年6月20日バイア州、サント・アントニオ・ド・ジェズス市で出生。

身長 : 1,73M
体重 : 70 KG
デビュー戦 : 2004年9月19日 コリンチアンス0 X 1 SPFC

在籍クラブ :

1994 ヴィトリアE.C. (エスピリト・サント州)
1996 パルメイラスE. (サンパウロ州)
1999 パルマA.C. (イタリア)
2004 シエナ A.C. (イタリア)
2004 パルマA.C. (イタリア)
2004 サンパウロF.C. (サンパウロ州)

主なタイトル :

1995 バイア州選手権
1996 サンパウロ選手権
1998 ブラジル・カップ
1998 メルコスール・カップ
1999 リベルタドーレス杯
2000 リオ・サンパウロ トーナメント
2001/02 イタリア・カップ
2005 サンパウロ選手権
2005 リベルタドーレス杯

ブラジル代表歴 :

2002 W杯 - 韓国 / 日本 5回目優勝

表彰

1998 プラカール誌 - 銀色ボールトロフィー 最優秀左サイドバック

サンパウロF.C.での成績 :

76 試合 (通算)
4 ゴール (通算)
60 試合 (今期)
3 ゴール (今期)

ファビオ・サントス : ファビオ・サントス・ロメウ
1985年8月16日、サンパウロ市で出生。

身長 : 1,79M
体重 : 75 KG
デビュー戦 : 30/07/03 - GRÊMIO 0 X 4 SPFC.

在籍クラブ:

1996 チェテ・ボート・クラブ
1996 ジョッキー・クラブ少年
1997 サンパウロFC

主なタイトル:

1998 グアルーリョス幼年トーナメントチャンピオン
2000 ブラジル-日本トーナメント・チャンピオン (幼年)
2001 サンパウロ州ジュニア大会二位
2002 ジッコ・カップ・チャンピオン (ジュニア)
2003 サンパウロ・カップ・ジュニア・サッカー大会二位
2005 サンパウロ州選手権
2005 リベルタドーレス杯

ブラジル代表歴:

2003 S 18仙台・カップ・チャンピオン - 日本
2005 S 20クリスタル・カップチャンピオン - チリ
2005 S 20世界選手権 - オランダ

サンパウロFCでの成績:

86 試合 (通算)
2 ゴール (通算)
19 試合 (今期)
1 ゴール (今期)



左サイドバック



右サイドバック

シシーニョ : シーセロ・ジョアン・デ・セザーレ
1980年6月24日、サンパウロ州プラドポリス市で出生。

身長 : 1,71M

体重 : 72 KG

デビュー戦 : 2004年1月21日 SPFC 0 X0 ポンテ・プレッタ.

在籍クラブ :

- 1994 ボタフォゴ (サンパウロ州)
- 2001 アトレチコ・ミネイロ (ミナス・ジェライス州)
- 2002 ボタフォゴ (リオ州)
- 2002 アトレチコ・ミネイロ (ミナス・ジェライス州)
- 2004 サンパウロFC (サンパウロ州)

主なタイトル :

- 2005 サンパウロ選手権
- 2006 リベルタドーレス杯

ブラジル代表歴 :

- 2005 対グアテマラ 親善試合召集- 2005年4月27日
- 2005 コンフェデレーション・カップ - ドイツ
- 2005 W杯予選

ブラジル代表としてのタイトル :

- 2005 コンフェデレーション・カップ - ドイツ

サンパウロFCでの成績 :

- 122 試合 (通算)
- 21 ゴール (通算)
- 53 試合 (今期)
- 10 ゴール (今期)

ソウザ : ウィリアムス・デ・ソウザ・シウヴァ
1979年2月4日、アラゴアス州マセイオー市で出生。

身長 : 1,76M

体重 : 75 KG

デビュー戦 : 09/04/03 - FIGUEIRENSE 0 X 2 SPFC.

在籍クラブ :

1998/ 99 CSA (アラゴアス州)

2000/ 01 CR ボタフォゴ (リオ州)

2001 リベルター (パラグアイ)

2002 グアラニー FC (サンパウロ州)

2002 CSA (アラゴアス州)

2003 A.A.ポルトゲーザ・サンチスタ (サンパウロ州)

2003 サンパウロ F.C. (サンパウロ州)

主なタイトル :

1999 アラゴアス選手権 - CSA

2003 サンパウロ州選手権3位 - ポルトゲーザ

2005 サンパウロ選手権

2005 リベルタドーレス杯

サンパウロFCでの成績 :

116 試合 (通算)

19 ゴール (通算)

48 試合 (今期)

7 ゴール (今期)



ハーフ
ゲーム・メーカー



ダニーロ：ダニーロ・ガブリエル・デ・アンドラーデ
1979年6月11日、ミナス州サン・ゴタルドにて出生。

身長：1,86M
体重：84 KG
デビュー戦：21/01/04 - SPFC 0 X 0 PONTE PRETA.

在籍クラブ：

1999 ゴヤス E.C. (ゴシアス州)
2004 サンパウロ F.C. (サンパウロ州)

主なタイトル：

1999 ブラジル選手権セリエB優勝
2002 ゴヤス州選手権
2002 中西部カップ
2003 ゴヤス州選手権
2005 サンパウロ州選手権
2005 リベルタドーレス杯

サンパウロFCでの成績：

125 試合 (通算)
22 ゴール (通算)
59 試合 (今期)
13 ゴール (今期)

レナン : レナン・テイシェイラ・ダ・シウヴァ
1985年3月29日、サンパウロ州カイエイラ市にて出生。

身長 : 1,81M
体重 : 80 KG
デビュー戦 : 23/05/04 - CRUZEIRO 2 X 1 SPFC.

在籍クラブ :

2004 サンパウロ FC (サンパウロ州)

主なタイトル :

1998 グアルーリョス・トーナメント・チャンピオン (幼年)
2000 ブラジルー日本トーナメント・チャンピオン (少年)
2001 サンパウロ州選手権二位 (ジュニア)
2002 ジッコ・カップ・チャンピオン (ジュニア)
2003 サンパウロ州杯 (ジュニア) 二位
2005 サンパウロ選手権
2006 リベルタドーレス杯

ブラジル代表選手歴 :

2005 S 2 0 クリスタル杯召集 -チリ

サンパウロFCでの成績 :

76 試合 (通算)
1 ゴール (通算)
47 試合 (今期)
1 ゴール (今期)





ヒチャリソン : ヒシヤリソン・バルボーザ・フェリスビーノ
1982年12月27日、リオ・グランデ・ド・スール州、
ナタール市で出生。

身長 : 1,76M

体重 : 72 KG

デビュー戦 : 2005年8月4日 - SPFC 3 X 3 パルメイラス。

在籍クラブ :

1998 イツアーノI.F.C.

2002 サント・アンドレ・スポーツクラブ

2003 フォルタレーザ・スポーツクラブ

2004 S.V. WUSTENROT SALZBURG (オーストリア)

2005 サントアンドレ・スポーツクラブ

2005 サンパウロF.C.

主なタイトル :

2002 サンパウロ選手権

2003 サンパウロ杯ジュニア・サッカー

サンパウロFCでの成績 :

17 試合 (通算)

1 ゴール (通算)

17 試合 (今期)

1 ゴール (今期)

レアンドロ・ボンフィン : レアンドロ・ド・ボンフィン
1984年1月8日、バイア州、サルバドール市で出生。

身長 : 1,77M
体重 : 72 KG
デビュー戦 : 2005年8月17日 - インターナショナル2 X 1 SPFC.

在籍クラブ :

1998/02 E.C. ヴィトリア (エスピリト・サント州)
2001/04 EINDHOVEN FOOTBALL CLUB PSV (オランダ)
2005 ポルトFC (ポルトガル)
2005 サンパウロFC (サンパウロ州)

主なタイトル :

2003/04 オランダ選手権
2003 アジアン・カップ
2003/04 オランダ選手権二位
2004/05 オランダ選手権

ブラジル代表選手歴 :

1999 S 1 5 ブラジル代表
2000 S 1 6 ブラジル代表
2001 S 1 7 ブラジル代表
2003 S 2 0 ブラジル代表

ブラジル代表選手としてのタイトル :

2001 南米選手権大会 (S-17)
2001 全世界最優秀選手に選ばれる (S-17)

サンパウロFCでの成績 :

15 試合 (通算)
0 ゴール (通算)
15 試合 (今期)
0 ゴール (今期)



ハーフ
フォワード



アロイージョ : アロイージョ・ジョゼ・ダ・シウヴァ
1975年1月27日、アラゴアス州、アタライア市で出生。

身長 : 1,88M
体重 : 86 KG

在籍クラブ :

1993 CRB (アラゴアス州)
1994/95 フラメンゴC.R. (リオ州)
1996 グアラニ (サンパウロ州)
1997/99 ゴイアスE.C. (ゴイアス州)
2000/01 セイント・エチエンネ (フランス)
2002/03 パリ・セイント・ジェルマン (フランス)
2004 ルビン・カザン (ロシア)
2005 アトレチコ・パラナエンセ (パラナ州)
2005 サンパウロFC (サンパウロ州)

主なタイトル :

1995 世界チャンピオンズ・カップ
1997 ゴイアス州選手権
1998 ゴイアス州選手権
1999 ゴイアス州選手権
2002 インタートト・カップ
2005 パラナ州選手権
2005 リベルタドーレス杯二位

チアーゴ :チアゴ・リベイロ・カルドーゾ
1986年、2月24日、サンパウロ州ポンテス・ジェスタウ市にて出生。

身長: 1.84 M
体重: 74 KG
デビュー戦: 14/8/05 - SPFC 3 X 2 FORTALEZA

所属クラブ:

2001 リオ・ブランコ(アメリカーナ市)
2004 ボルドー (フランス)
2005 サンパウロF.C.

ブラジル代表歴:

2004 S20地中海カップ・チャンピオン- バルセロナ

サンパウロでの成績:

10 試合(通算)
4 ゴール (通算)



フォワード



フォワード

グラフィッテ : エディナウド・バチスタ・リバーニオ
1979年、サンパウロ州、ジュンヂアイ市で出生。

身長 : 1,88M

体重 : 83 KG

デビュー戦 : 2004年1月21日 - SPFC 0 X 0 ポンテ プレッタ.

在籍クラブ :

- 2000 カンポ・リンポ・パウリスタ・スポーツクラブ (サンパウロ州)
- 2001 アトレチコ・マトネンセ協会 (サンパウロ州)
- 2001 サンタ・クルースF.C. (ペルナンブッコ州)
- 2002 グレーミオF.P.A
- 2002 サンタクルースF.C. (ペルナンブッコ州)
- 2003 LG 韓国
- 2003 ゴイアス E.C. (ゴイアス州)
- 2004 サンパウロ F.C. (サンパウロ州)

主なタイトル :

- 2003 プラカール誌 - 銀色ボールトロフィー 最優秀右アタッカー
- 2005 サンパウロ選手権
- 2005 リベルタドーレス杯

ブラジル代表選手歴 :

- 2005 対グアテマラ 親善試合に召集
- 2005 2006年W杯予選

サンパウロFCでの成績 :

- 92 試合 (通算)
- 39 ゴール (通算)
- 29 試合 (今期)
- 12 ゴール (今期)

アモロóz : マルシオ・アモロóz・ドス・サントス
1974年、7月5日、サンパウロ州サンパウロ市で出生。

身長 : 1,78M

体重 : 71 KG

デビュー戦 : 2005年6月22日 - SPFC 2 X 0 リバープレート。

在籍クラブ :

1991 グアラニF.C.
1992/93 ヴェルディー川崎 (日本)
1994/96 グアラニF.C.
1996 フラメンゴC.R.
1996/99 ウチネゼC. SPA. (イタリア)
1999/01 パルマ A.C. (イタリア)
2001/04 BORUSSIA DORTMUND (ドイツ)
2004/05 マラガC.F. (スペイン)
2005 サンパウロF.C.

主なタイトル :

1992 日本選手権
1993 日本選手権
1996 リオ・カリオカ選手権
1999 コッパ・アメリカ (ブラジル代表)
99/00 イタリア・スーパー・カップ
01/02 ドイツ選手権
2005 リベルタドーレス杯

得点王 :

1992 日本選手権 - 9 ゴール
1993 日本選手権 - 21 ゴール
1994 ブラジル選手権 - 19 ゴール
1999 イタリア選手権 - 22 ゴール
2002 ドイツ選手権 - 18 ゴール

表彰 :

1994 プラカール誌 - ゴールド・ボール・トロフィー 最優秀選手

サンパウロFCでの成績 :

26 試合 (通算)
14 ゴール (通算)
26 試合 (今期)
14 ゴール (今期)





クリスチアン : クリスチアン・コヘーア・デイオニージオ
1975年4月23日、リオ・グランデ・ド・スール州、ポルト
アレグレ市で出生。

身長 : 1,86M

体重 : 83 KG

デビュー戦 : 2005年8月20日 - アトレチコ・パラナエンセ4 X 2
SPFC.

在籍クラブ :

- 1992 インターナショナルS.C.
- 1993/94 マリッチモC.S. (ポルトガル)
- 1995 エストリル (ポルトガル)
- 1995/96 ファレンセ (ポルトガル)
- 1996/99 インターナショナル S.C.
- 1999/02 パリ・セイント・ジェルマン (フランス)
- 2002 ボルド (フランス)
- 2002 パルメイラスS.E
- 2003 ガラタザレイ (トルコ)
- 2003/05 グレーミオF.P.A.
- 2005 大宮 アルジージャ (日本)
- 2005 サンパウロF.C.

主なタイトル :

- 1992 リオ・グランデ・ド・スール州選手権
- 1993/94 UEFAカップ予選
- 1997 リオ・グランデ・ド・スール州選手権

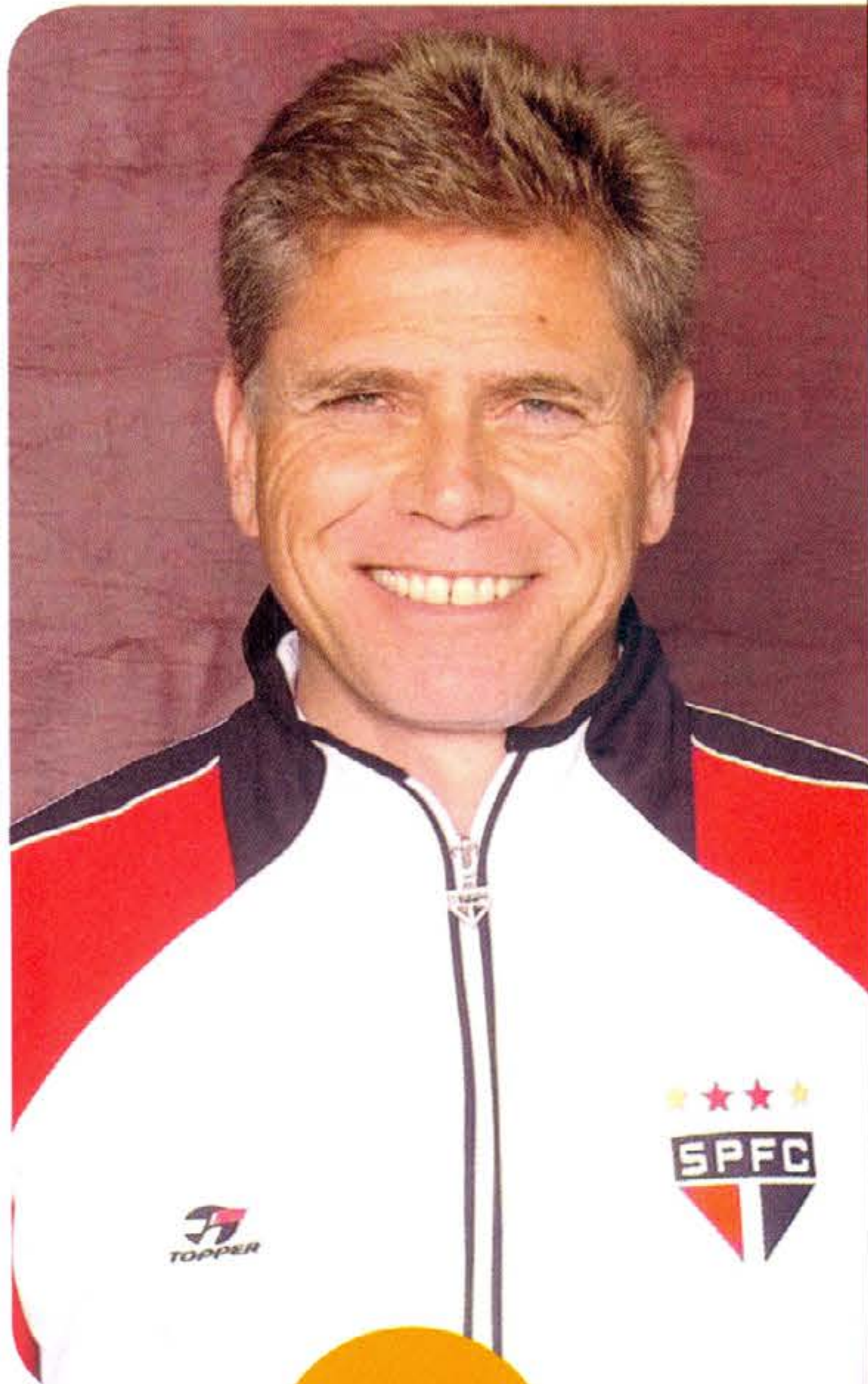
ブラジル代表歴 :

- 1999 コッパ・アメリカ
- 1999 コンフェデレーション・カップ 二位

サンパウロFCでの成績 :

- 20 試合 (通算)
- 8 ゴール (通算)
- 20 試合 (今期)
- 8 ゴール (今期)





監督

パウロ・アウトオーリ : パウロ・アウトオーリ・デ・メーロ
1956年8月23日、リオ・デ・ジャネイロ市で出生。

在籍クラブ:

- 1975/79 A. A. ポルトウゲーザーリオ州
- 1979/81 アメリカ F.C.
- 1982/84 E.C. サン・ベント
- 1985 マリリア A.C.
- 1985 ボンスセッソ F.C.
- 1986 ボタフォゴ F.R.
- 1986/87 ヴィトリア S.C. (ポルトガル)
- 1987/89 C.D. ナショナル (ポルトガル)
- 1989/91 ヴィトリア S.C. (ポルトガル)
- 1991/95 S.C. マリッチモ (ポルトガル)
- 1995 ボタフォゴ F.R.
- 1996/97 S.L. ベンフィカ (ポルトガル)
- 1997 クルゼイロ E.C.
- 1997/98 C.R.フラメンゴ
- 1998 ボタフォゴ F.R.
- 1999 S.C. インテルナショナル
- 1999 サントス F.C.
- 2000 クルゼイロ E.C.
- 2000 ヴィトリア S.C. (ポルトガル)
- 2001 アリアンサ・リマ (ペルー)
- 2001 ボタフォゴ F.R.
- 2002 S.C.クリスタル (ペルー)
- 2003 ペルー代表 (ペルー)

達成目的と獲得したタイトル:

- 1987/88 C.D. ナショナル (ポルトガル) 一部リーグに昇格
- 1989/90 ヴィトリア S.C. (ポルトガル) - Uefa参加権獲得
- 1992/93 S.C. マリッチモ (ポルトガル) - Uefa参加権獲得
- 1993/94 S.C. マリッチモ (ポルトガル) - Uefa参加権獲得
- 1995 ボタフォゴ F.R. - ブラジル選手権
- 1996 ベンフィカ S.L. (ポルトガル) - イタリア・フィレンツエトーナメント
- 1997 クルゼイロ E.C. - ミナス・ジェライス州選手権
- 1997 クルゼイロ E.C. - リベルタドーレス杯
- 2001 アリアンサ・リマ (ペルー) - アペルツーラ・トーナメント・トーナメント
- 2002 S.C. クリスタル (ペルー) ペルー選手権
- 2005 サンパウロ FC - リベルタドーレス杯

学歴および職歴:

- カステーロ・フランコ大学体育学課 - リオ州
- サッカー監督講座 - リオ州立大学
- カトリック大学スポーツ経営学課 - リオ州

コーチング・スタッフ

アシスタント・コーチ：
ミウトン・クルース、



ジウヴァン・アラウージョ・ドス・サントス



フィジカル・トレーナー：
カルリンニョス・ネーヴェス



アシスタント・フィジカル・トレーナー：
セルジオ・ホッシャ



キーパー・コーチ：
アロウド・ラモウニエール



身体療法士：
ルイス・ロザン



ヒカルド・サザキ



医師：
Dr. ジョゼー・サンシェス





生理学者：
Dr. トウリービオ・レイテ・デ・バーホス



パフォーマンス分析者：
ウエリントン・ヴァウケル



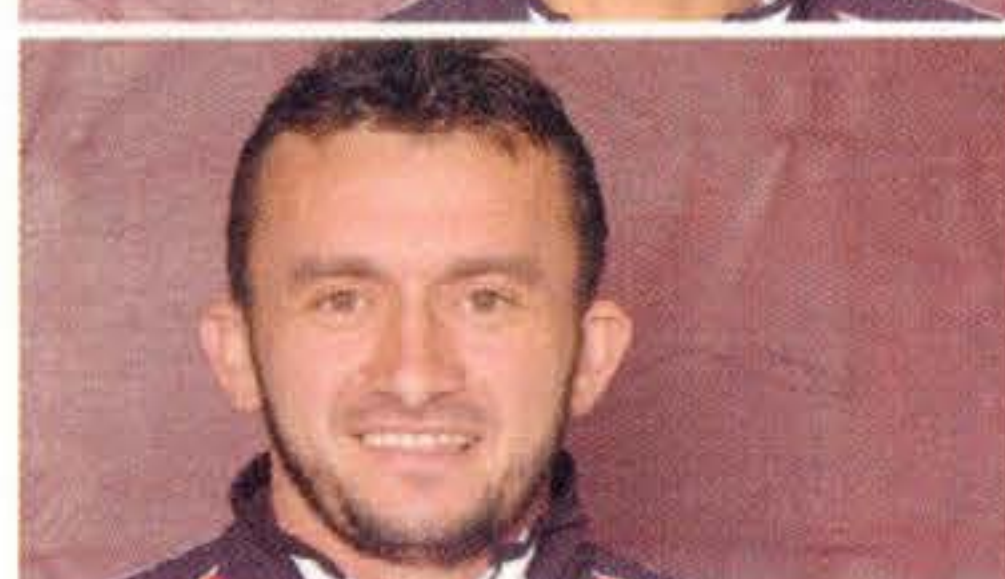
マッサージ士：
アイウトン・ロドリゲス、



アウミール・リマ



ハウペイロ：
ヴァウデシー・ナシメント、



シセロ・フェイトーザ



報道担当者：
ジュッカ・パシエッコ



コミュニケーション・アシスタント：
フェリッペ・エスピンドラ



ビデオ・オペレーター：
クラウディオ・グリーロ

運営委員会

サッカー総責任者：

マルコ・アウレリオ・クンニャ



サッカー支配人：

ジョゼー・カルロス



21回のサンパウロ州選手権：1931、43、45、46、48、49、53、57、70、71、

75、80、81、85、87、89、91、92、98、2000、2005年。

3回のブラジル選手権：1977、86、91年。

1回のリオ・サンパウロ・トーナメント：2001年。

3回の南米リベルタドーレス杯：1992、1993、2005年。

2回のクラブ世界選手権：1992、1993年。

1回のリベルタドーレス杯チャンピオン・スーパー・カップ：1993年。

2回の南米レコッパ・チャンピオン：1993 & 1994年

1回のコンメボール・カップ・チャンピオン：1994年。

1回のコンメボール・スーパー・カップ・チャンピオン：1996年。

トリコロールのシンボルの上にある**4つの星**には意味がある。2つの赤い星は**1992年**と**1993年**に二度、東京で獲得したクラブ世界選手権を象徴している。

金色の**2つの星**は、アデマール・フェレイラ・ダ・シルヴァが**1952年**のヘルシンキ・オリンピック、そして**1955年**のパン・アメリカン大会で記録した、陸上競技、三段跳びの世界新記録を象徴している。

アデマールは世界記録をマークした時、サンパウロに所属する選手であり、ヘルシンキと**1956年**のメルボルンでも金メダルを取り、ブラジルの選手として、オリンピックの金メダルを**2個**獲得した最初の選手となった。

クラブ応援歌

作者：ポルピリオ・ダ・パース中尉

トリコロール・パウリスタを称えよ
愛すべきブラジルのクラブ
強く、雄々しく
偉大なクラブ

(コーラス)：オー、トリコロール

愛すべきクラブ
汝が栄光は
古より来たり

ブラジルの先達
やさしさに溢るる
聖パウロの名を受く
尊厳を誇る

不死のパウリスターノの
輝ける栄光を受け
フロレスタからは
伝統の煌きを受け継ぐ

(コーラス)：オー、トリコロール

サンパウロ、愛するクラブ
我が愛は汝に
汝が名と汝が栄光は
栄誉に輝く

(コーラス)：オー、トリコロール
汝が栄光の色は
開拓者の地に
熱き血をたぎらす
ブラジルの誉れと栄光

(コーラス)：オー、トリコロールC

総合コーディネーション：

ジュカ・パシエコ、フェリッペ・エスピンドラ 及び
ファイ・ブランキンニョ

テキスト：

コンハッド・ジアコミーニ

アート・ディレクション：

ゲーム・ダヴィソン

イラスト：

グスタヴォ・ドウアルテ

写真：

ルーベンス・シーリ、アジェンシア・エスタード、
ロイター、ガゼッタ・プレス、及び、ボビ・ウオウフェンソン

グラフィック：

ジューリオ・コラーリ

アート・バイヤー：

ソニア・サンシェス

翻訳（英語）：

ハファエウ・フォントゥラ・デ・アンドラーデ

翻訳（日本語）：

米田利耕
米田扶美子

ファイナル・アート：

アレシャンドレ・アレモン・バルレコヴィッキ
ヒカルド・フェルナンデス・ペレイラ

校正：

ネリ・A・ヴィスカイーノ
カルロス・A・コンチ

この小冊子は、決してサンパウロFCの歴史のすべてを語るものではありません。もしそれがこの刊行の目的だとしたら、クラブの歴史にもっとも重要な人物や出来事が多く欠けることとなります。

このメディアガイドは、初のFIFAクラブ世界チャンピオンシップ取材される世界中の報道陣の皆さんに役立つサンパウロFCの基本的な情報をお伝えする役割を担っております。



**EDIÇÃO, MONTAGEM E TRATAMENTO
DE IMAGENS DA VERSÃO DIGITAL**

MICHAEL SERRA

DIGITALIZAÇÃO

GIANCARLO ZAPPELLONI

PRODUÇÃO

ARQUIVO HISTÓRICO DO SÃO PAULO FC

2020



ONDE A MOEDA CAI DE PÉ